

船橋市教育委員会会議1月定例会会議録

1. 日 時 平成22年1月21日(木)
開 会 午後4時00分
閉 会 午後4時55分
2. 場 所 教育委員室
3. 出席委員 委 員 長 山 本 雅 章
委員長職務代理者 石 坂 展 代
委 員 中 原 美 惠
委 員 篠 田 好 造
教 育 長 石 毛 成 昌
4. 出席職員 教育次長 西 崎 勝 則
管理部長 松 本 清
学校教育部長 阿 部 裕
生涯学習部長 須 藤 元 夫
管理部参事兼総務課長 二 通 健 司
学校教育部参事兼
総合教育センター所長 福 田 衛
生涯学習部参事兼社会教育課長 山 田 清
財務課長 泉 對 弘 志
施設課長 千々和 祐 司
学務課長 松 田 重 人
指導課長 加 藤 邦 泰
保健体育課長 水 野 平 吾
文化課長 武 藤 三 恵 子
青少年課長 大 野 栄 一
生涯スポーツ課長 小 泉 秀 俊
飛ノ台史跡公園博物館長 江 口 勇 一
総務課長補佐 大 村 尚

5. 議 題

第1 前回会議録の承認

第2 報告事項

- (1) 「船橋の教育」(素案)に係るパブリックコメントの状況について
- (2) 平成21年度船橋市立小・中・特別支援学校書写展及び造形作品展について
- (3) ふなばし「学校給食展」について
- (4) 平成22年船橋市成人式の実施報告について
- (5) 第24回ふなばし生涯学習フェアについて
- (6) 第22回船橋市文学賞の結果報告について
- (7) ふなばし音楽フェスティバル2010について
- (8) 「考古学講座」の開講について
- (9) 第54回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会の実施報告について
- (10) 第28回船橋市小学生・女子駅伝競走大会について

(11) その他

6. 議事の内容

【委員長】

それでは、時間になりましたので、ただいまから教育委員会会議 1 月定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認についてお諮りします。

1 2 月 1 7 日に開催しました教育委員会会議 1 2 月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

本日の会議の開催に当たりまして、会議を傍聴したい旨、2 名より申し出がありました。傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入場)

【委員長】

傍聴人にお願いがございます。お渡しいたしました傍聴券の裏面に記載されております傍聴人の遵守事項について守っていただき、傍聴されるようお願いいたします。

それでは議事に入ります。

初めに報告事項(1)について、総務課、報告をお願いします。

【総務課長】

「船橋市の教育」(素案)に係るパブリックコメントの状況についてご報告いたします。

報告事項(1)の資料をご参照ください。

期間は昨年 1 2 月 1 5 日から今年 1 月 1 3 日まで、3 0 日間行いました。その結果、2 6 名の方々から 9 5 件のご意見をいただいております。意見につきましては、その下の表にあるとおりでございます。

現在この意見に関する考え方を各課に求めているところでございますので、それを取りまとめた上で、来月の定例会において議決をいただきたいと思いますと考えております。

この資料について簡単に補足説明をさせていただきますが、一番左の整理番号は、それぞれご意見の到着順に整理番号を振ったものでございます。

2 ページの3 番目のところに「18. 10」とございますのは、18 番目の方の10 番目のご意見ということです。複数の意見を寄せられた方についてはこのように表示しております。いただいたご意見は計画全体に係るもの、船橋の教育目標に係るもの、基本方針1～8に係るもの及びその他の意見にそれぞれ分類して表示してございます。

以上でございます。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

【石坂委員】

「整理番号」の項目の隣に、「計画全体に係る意見の概要」とありますが、「概要」というのは何かまとめられたりしたのでしょうか。また、いただいた意見に基づいて、この辺をこのように修正しようと考えているところがあったら少しお伺いしたいんですけども。

【総務課長】

「概要」と記してございますのは、それぞれ自由な意見をメールなり文書なりでいただいております、その文書全体を載せてしまうと、例えばご自分のプロフィールなどを語られている方もおりますので、事務局で要旨をまとめさせていただいたという意味です。

それから、修正点があるかないかというご質問でございますけれども、現在各課に意見を求めているところでございますので、各課から出された意見を全体的に集約して、修正するかどうかを判断していきたいと考えております。

【中原委員】

パブリックコメントを求める期間が、「短いのではないか」とか、「年末年始の時期というのはどうなのか」というようなご意見もいただいているようですが、12月15日から1月13日の間で、どのあたりに集中してご意見をいただいているかとか、「期間内で大体満遍なくいただいている」とか、いつ届いているかというようなことは分かりますか。

【総務課長】

大体満遍なくいただいて、集中したということはなかったと記憶しております。

【委員長】

全体的に見ると好意的な意見のほうが多いような感じもするのですが、いただいたご意見の中にもあるように、計画倒れにならないようにすることが大事なのではないかと私は思います。

ほかに何かございますか。

【中原委員】

感想ですけれども、本当に関心を持って見てくださっていて、今までの経過等もいろいろ盛り込みながらご意見を言うてくださっている方もいらっしゃるの、とてもありがたいと思いますし、ご意見に対してはきちっと検討していきたいと感じました。

【委員長】

そのほか何かご意見、ご質問ありますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項（２）について、指導課、報告をお願いします。

【指導課長】

それでは、資料１１ページをご覧ください。

平成２１年度船橋市立小・中・特別支援学校児童生徒書写展の開催についてでございます。開催期間は１月２７日から１月３１日まで、場所は船橋スクエア２１で、入場料は無料です。

展示内容の欄にも記してありますが、各学校の学年代表の作品を展示し、その中から市長賞、市議会議長賞、教育長賞の３賞を選ぶことになっております。また、今年は西安市との作品交流を行うことになっておりますので、西安市の児童生徒の作品を６点展示いたします。

５番として、昨年度の入場者数を参考に記載させていただきました。

続きまして、平成２１年度船橋市立小・中・特別支援学校造形作品展の開催についてでございます。

開催期間は２月１７日から２２日まで、場所は書写展と同じく船橋スクエア２１で、各学校から出品されたものを展示いたします。美術関係の展覧会といいますと、絵画のような平面の作品が多いのですが、今回につきましては立体作品を展示いたします。毎年３、６００点近くの作品が集まっており、今年もほぼ同数が展示される予定です。

書写展と同様に、昨年度の入場者数を参考に記載させていただきましたので、ご覧ください。

以上です。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

【中原委員】

造形作品展は、相当な人数の方がいらっしゃるようで、実際この会場の中でこれだけたくさんの方がお見えになると、運営等が大変だと思いますが、その辺はいつもどのようにされていますか。

【指導課長】

平日についてはそれほど同じ時間に集中するような状況ではありませんが、土日は多少込み合いますので、分担しまして、危なくないように様子を見ながら整理にあたる予定です。

【委員長】

そのほか何かご意見、ご質問ありますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、続きまして報告事項（3）について、保健体育課、報告をお願いいたします。

【保健体育課長】

資料の13ページをご覧くださいと思います。

ふなばし「学校給食展」の開催について説明させていただきます。

開催期日は1月29日金曜日、9時半から午後4時まで。会場はきららホールで、入場料は無料です。

この学校給食展は、学校給食の意義や役割等について、保護者や地域の方々にも理解していただくことを目的とし、昭和58年より毎年開催しておりまして、今年で27回目を迎えます。

当日は、講演、各学校の取り組みの実践発表、パネル展示、給食のサンプル展示やレ

シピの紹介等が行われます。講演の講師は、現在船橋市在住で、出張料理人として活躍されている小暮剛さんでございます。食育の大切さや地場産、地産地消についてのお話をいただけるということで、参加者は学校の管理職、教諭、栄養職員、保護者、一般市民等、600名ほど予定しております。よろしくお願いいたします。

以上です。

【委員長】

ただいま報告がありました。何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

【篠田委員】

ここで実際に作るのですか。

【保健体育課長】

この場で作るのではなく、作ったものをその場で展示させていただきます。

【石坂委員】

このチラシは、小学校、中学校の全児童生徒に配られているのですか。

【保健体育課長】

全部の学校と保護者の方にもお配りして、募集をかけております。

【石坂委員】

そのほかに先生方や、栄養士さん方も来られると、およそ600名の入場予定ということですが、会場は狭くないですか。

【保健体育課長】

例年、市民文化ホールが会場となりますが、今年は文化ホール改修工事の関係でからホールが会場となりました。会場としては例年よりも少し狭くなっておりますが、若干学校等の参加人数を制限させていただいているのと、終日開催しておりますので、入場者が集中することなく、分散するので大丈夫だと考えております。また、栄養士等の協力を得まして、役割分担しながら会場整理にあたる予定です。

【委員長】

ほかに何かございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、続きまして報告事項（４）及び報告事項（５）について、続けて社会教育課、報告をお願いいたします。

【社会教育課長】

それでは、社会教育課からは２点報告させていただきます。

まず初めに、報告事項（４）の平成２２年船橋市成人式の実施結果について報告をさせていただきます。

報告の前に、委員の皆様には成人式にご出席いただきましてありがとうございました。１月１１日の成人の日に船橋市民文化ホールにおいて、例年のとおり、午前と午後の２回に分けて式典を開催いたしました。当日は実行委員会の周到な準備により、大きなトラブルもなく、盛況のうちに終了いたしました。

お手元の資料、１５ページをご覧くださいと思います。

参加者は、午前の部が１，７２３名、午後の部が１，６８１名、合計で３，４０４名でございました。参加率は６３．９６％で、昨年と比べますと若干の増員でございました。ご承知のように、午前と午後の２部で新成人が発表した、２０歳のアピールが非常に特徴的で、特に今年はブラスバンドやロックなどの音楽をはじめ、ダンスパフォーマンス、よさこいソーランなど、多彩な発表があり、会場全体が一体となってすばらしい演出ができました。

別会場の中央公民館では、よりみち広場が開催されまして、資料にありますように、延べ２，２８７名の参加がございました。その中で、昨年から開催されました恩師からのメッセージコーナーでは、市内全中学校及び特別支援学校の先生から新成人に向けたメッセージが寄せられ、昨年に引き続いて大変好評でございました。今回も成人式友の会の方々に、運営と企画の中心になっていただいたわけですが、成人式を裏方で支える体制ができて、非常にスムーズな運営につながっているところに大きな意義があると思っております。現在、成人式のあり方が問われている中で、船橋市の成人式の取り組み方は全国に誇れるものであると思っております。

また、成人式を成功させようという地域の方々からの協力もあり、ライオンズクラブや青少年相談員の皆さんとの連携の輪も広がっております。

以上が成人式についての報告でございます。

続きまして、報告事項（５）の第２４回ふなばし生涯学習フェアについて報告させていただきます。

資料の１７ページから１８ページにかけて、フェアのチラシがございます。この生涯

学習フェアにつきましては、市民の皆さんが生涯に亘って楽しく学ぶことで、より生き生きとした人生を送っていただくことを目的に、毎年開催しております。今年度は2月6日から2月21日までの土曜日と日曜日を中心に、延べ8回開催いたします。

詳細はそのチラシにも書いてありますとおり、マラソン選手として3回オリンピックに出場した宇佐美彰朗氏が健康や体力作りに役立つ「ウオーキング教室」を行うほか、国際弁護士として活躍をしているケント・ギルバート氏をご自身の経験をもとにチャレンジ精神の大切さについて講演いたします。そのほかにも、笑いでがん患者に生きる勇気を与えている樋口強氏の「いのちの落語講演会」や、環境文明研究所長の加藤三郎氏による地球温暖化をテーマにした講演、バスでの見学会など、多彩なメニューを用意しております。

このふなばし生涯学習フェアは、市民の学習を支援する生涯学習コーディネーター連絡協議会や、ふなばし市民大学の学びのコーディネーター学科の学生などが中心になって企画運営にあっております。現在、チラシ、広報等で募集しており、すべての事業において順調に参加申し込みを受け付けている状況でございます。

生涯学習フェアにつきましては以上でございます。

【委員長】

成人式に関しては、午後ちょっと騒いだ人もいましたけれども、全体的には本当に和気あいあいとしたいい成人式だと感じました。過去に3回出させていただきまして、3回ともいい成人式でしたけれども、今回も非常にいい成人式だと思います。

【中原委員】

よりみち広場も本当にたくさんの方が来てくださって、担当の方もとても細やかにこやかに対応されていて、事業としてとても良かったと思っております。

今回から、2階リハーサル室に設置されたモニターですが、付き添いの親御さんの利用状況はいかがでしたか。

【社会教育課長】

おっしゃるとおり、少しでも多くの方に成人式をご覧になっていただくということで、今年度からモニター会場を増やしました。新たに2階のリハーサル室に100座席を設けたところ、非常に好評で、2階に限らず6階のよりみち広場や1階のロビーのモニターも、例年に比べて非常にたくさんの方がご覧になっていました。会場内に入らない新成人の方もいらっしゃいましたけれども、今年度は多少なりとも親御さんや付き添いの方にも成人式の様子をご覧いただくことができたのではないかと考えております。今後も工夫をしながら実施していきたいと思っております。

【委員長】

生涯学習フェアについてですが、今、土日ともお休みという人は限られていて、日曜日以外だと参加できない方が非常に多いように思います。もし少しでも多くの市民に参加してほしいと考えるのであれば、やはり日曜日の方が利便性は高いと思うのですがいかがでしょうか。

【社会教育課長】

そうですね、お休みの日ということで、土曜日と日曜日に振り分けていますが、最近土曜日開催のイベントが多いということですか。

【委員長】

バス研修を除く6つの企画のうち、土曜日の開催が3日間、日曜日の開催が3日間ですね。このあとの報告事項(8)の考古学講座に至っては、全部土曜日の開催ですよ。土曜日がお休みという発想は、大企業の人とか、公務員の方の発想で、自営業の方は、やはり土曜日は働いている方が多いと思うわけです。日曜日に働いている人もたくさんいますし、夜働いている人もいますけれども、ただ圧倒的に日曜日がお休みの人が多いのではないかと思います。高速道路の込み具合を見ても、日曜日が一番込みますしね。

ですから、運動会の開催曜日についてもそうですが、少しでも多くの市民の方の参加を願うのであれば、イベントについてはなるべく日曜日の開催を主体に考えた方がいいのかなという気がします。企画される方は、いろいろと調整が大変だと思いますが、ご検討をお願いします。

【社会教育課長】

わかりました。

【委員長】

その他何かございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、続きまして報告事項(6)及び報告事項(7)について、文化課、報告をお願いいたします。

【文化課長】

文化課から2件、報告いたします。

まず、資料19ページをご覧ください。第22回船橋市文学賞の結果について、ご報告いたします。

今回、小説部門以下5部門で、合計289篇の応募がございました。昨年より59編ほど多くなっております。前回から取り入れましたメールによる応募も23編ほどございました。

年齢を見ますと、8歳の小学生から94歳の方まで、幅広い年齢層の方からご応募いただきました。受賞作品は資料のとおりでございます。今回、俳句部門の文学賞は該当がありませんでしたが、詩の部門では15歳の中学3年生男子が文学賞に選ばれました。選者の先生方は、入賞作品はいずれも素晴らしいものだと高く評価しました。今、これらの作品を一冊の作品集にまとめる作業をしているところです。作品集が完成しましたら、各図書館に配本し、貸出しをいたします。

なお、文学賞の授賞式を3月14日に行う予定でございます。受賞者の皆様には、賞状と、副賞として賞金が贈呈されることになっております。

続きまして、資料21ページをご覧ください。ふなばし音楽フェスティバル2010について、ご報告いたします。このチラシの裏面をご覧くださいませでしょうか。

1月31日、文化ホールで開催するバンドスタンドを皮切りに、2月11日には、きららホールでバリ島の舞踊「ケチャ」、2月20日には、くちぶえコンサートを開催いたします。また、市内12カ所で、それぞれの実行委員会が企画した魅力ある地域ふれあいコンサートを開催する予定でございます。

そして、2月14日には千人の音楽祭を開催いたします。資料23ページをご覧ください。「音楽、出づる処。“FUNABASHI”」をテーマに、小中高校生や市民オーケストラ、吹奏楽団、邦楽団体など2,000人を超えるアマチュアの音楽家が出演します。今回は、友好都市交流15周年を記念して中国の西安市から歌舞劇団をお招きしますので、歌舞劇団によるオープニングを予定しております。伝統的な宮廷音楽や踊りをご披露いただく予定でございます。

報告は以上です。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

【中原委員】

文学賞に関して、応募者数が増えたのは、やはり広報をしっかりと、たくさん作品を寄せていただこうとご努力いただいた結果だと思います。その中で、できるだけ若い方の応募を増やしたいという思いもありましたが、そのあたりは例年に比べていかが

でしょうか。

【文化課長】

特に若い方向けの広報をしているわけではありませんが、今回、小学生は3人、中学生100人以上から応募をいただいております。

【委員長】

そのほか何かご意見、ご質問ございますか。

【石坂委員】

千人の音楽祭は、あれだけたくさんの団体をスムーズに入退場させるなど、毎年運営が素晴らしいですね。テーマも非常によく考えられていると思いますが、この実行委員会のメンバーには、どのような方がいらっしゃるのでしょうか。

【文化課長】

千人の音楽祭実行委員のメンバーには、市内オーケストラや合唱メンバーなど音楽関係団体の代表者や、小・中学校の吹奏楽の指導者など約40名で構成しています。また、その方々のバックには、オーケストラの隊員や市立船橋高校吹奏楽部の生徒さんなど、いろいろ協力をしてくださる方々がいらっしゃいますので、あれだけ大規模なイベントを成功させられているかと思います。

【委員長】

そのほか何かございますか。

【中原委員】

昨年12月の終わりに市立船橋高校の定期演奏会に出席させていただきましたが、OBやOGの方々も協力して盛り立てている様子で、そうしたつながりがあって、支えあっていくことで文化の力がつくということをすごく感じたので、千人の音楽祭も含めて、一つ一つの事業を大事に進めていければと思います。

【委員長】

他に何かご質問等ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項（８）について、飛ノ台史跡公園博物館、報告をお願いいたします。

【飛ノ台史跡公園博物館長】

報告事項（８）「考古学講座の開講について」、ご報告いたします。

資料の２５ページ、黄色いチラシをご覧ください。

考古学講座は、昨年１０月に実施いたしました縄文大学と連動して、考古学に関する情報を広く市民の皆様に提供することを目的として力を入れている事業でございます。縄文大学は、大学教授を中心とした講師をお願いしているのに対しまして、考古学講座は、実際に発掘に直接携わっている方や、それぞれの地域で研究されている方などを講師として、少し身近な考古学の情報を提供することを目的として実施いたします。今年度はお手元のチラシのとおり、海神公民館を会場にして、１月２３日と３０日、２月２０日と２月２７日のそれぞれ土曜日、４回の講座を予定しております。

なお、縄文大学は平日水曜日の６時半から実施していますが、考古学講座は曜日と時間を少し工夫して実施しているものでございます。以上でございます。

【委員長】

ただいま報告がございましたが、何かご意見、ご質問ございますか。

【中原委員】

定員が「各回１２０名」となっていますが、これは例年大体このような規模で開催されているのでしょうか。

【飛ノ台史跡公園博物館長】

去年は定員１５０名で募集をしておりましたが、例年大体１２０名前後でございますので実績にあわせたものです。

【委員長】

全部土曜日の開催ですが、土曜日でも定員が埋まってしまうわけですか。

【飛ノ台史跡公園博物館長】

はい、大体うまってしまうです。今回は土曜日に実施いたしますが、来年以降は日曜日の開催につきましても会場を予定している海神公民館と検討してまいりたいと思います。

先ほど申し上げましたとおり、縄文大学は水曜日、平日の夜に講義を行なっているこ

ともあり、いろんな方に来ていただきたいということで、曜日と時間をずらすなど考慮したつもりですが、検討させていただきたいと思います。

【委員長】

まるっきりウイークデーであれば、施設の開館の都合や講師の都合がありますので、何となく分かりますが、土曜日か日曜日かというときは、やはり私の感覚からすると日曜日を優先していろいろ決めていただいたほうが利便性が高いのではないかという気がしますので、ご検討いただければと思います。

そのほか何かご意見ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項（9）及び報告事項（10）について、続けて生涯スポーツ課、報告をお願いします。

【生涯スポーツ課長】

報告事項（9）「第54回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会の実施報告について」、ご説明いたします。

本大会は、先週1月16日の土曜日に開催いたしました。参加者と成績につきましては、資料に記載のとおりでございます。参加された全チームが事故なく無事に船橋アリーナまで完走いたしました。

次に、報告事項（10）「第28回船橋市小学生・女子駅伝競走大会について」、ご説明いたします。

本大会は、2月13日土曜日に開催する予定で、現在148チームから参加の申込みを受け付けております。当日は8時20分に受付を終了し、8時30分に開会式を執り行ったあと、小学校男子の部、女子の部、さらに一般の部、中学校の部、高等学校の部のそれぞれの選手が、順次、運動公園の周回コースでレースを行ないます。ぜひご来場いただき応援していただければと思います。

以上でございます。

【委員長】

高根中学校が中学の部で優勝していますが、船橋市の中学校の中では余り強い方ではなかったですね。指導している先生が代わられたりしたのでしょうか。

【生涯スポーツ課長】

高根中学校は初優勝です。初優勝した直接の要因は承知しておりませんが、先生も一生懸命指導されたでしょうし、選手たちもそれに応えて頑張ったものだと思います。いづれにしても初優勝ということで、非常に喜んでおりました。

【委員長】

そのほか何かご意見ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、報告事項（11）「その他」で何か報告したい事項がある方がいらっしゃいましたらお願いします。

【指導課長】

前回、12月17日の定例会で、平成21年度子ども音楽コンクール東日本優秀賞演奏会の結果報告をさせていただきましたが、12月26日に合唱部門の演奏会が行われましたので、その結果について報告させていただきます。丸山小学校が優秀賞、高根台第三小学校も優秀賞ということで、残念ながら全国大会には出場できませんでしたが、2校とも優秀賞を受賞することができました。以上でございます。

【委員長】

そのほか何かございますか。

【篠田委員】

2点ほど意見として聞いて頂ければと思います。

まず、報告事項（1）のパブリックコメントについて、この12月15日から1月13日という期間は、私個人としては、非常に忙しい時期で、なかなかじっくりと見るのが難しかったので、おそらく、私と同じように思っている市民の方がいらっしゃるかもしれませんので、今後、パブリックコメントを実施するようなことがある場合には、期間が1カ月程度で良いかどうか検討していただきたいと思います。

今回、26人から95件の意見が提出され、それが多いのか少ないのか分かりませんが、提出された意見の概要を拝見していて、PTAの役員の方の意見も多く寄せられているのだろうかということを感じた次第です。

もう1点は、報告事項（3）の学校給食展についてです。作られたお料理を運んでき

て展示するというのですが、「地産地消」ということで、船橋ではどのような食物が採れて、その素材を使って、どのように料理が出来上がっていくのか、その過程が分かるような給食展ができればいいのかなと思いました。

【保健体育課長】

学校給食展について、ご意見ありがとうございました。今回、場所が市民文化創造館からホールということで、パネル展示だけでもスペースの大部分がとられてしまうので、レシピはもちろん展示しますが、次回以降では給食の出来上がっていく流れについても、展示できるように検討させていただきたいと思います。

【総務課長】

パブリックコメントに寄せられた意見の数につきましては、私が経験上知る限りでは、これだけ多くの意見が集まるというのはなかなかないことだと考えています。それだけ教育に関する市民の方の関心が高いのだと感じております。

以上でございます。

【委員長】

その他にご意見、ご質問、ご報告はございませんでしょうか。

【石坂委員】

会議資料配布時に同封されていましたが特別支援学校の広報誌が、今まで白黒印刷で先生方の顔やお子さんの顔も全然見えませんでした。カラー印刷になって表情も伺えるようになって見やすくなったと思います。

また、インフルエンザについての文書がありましたが、学級閉鎖等の基準が変わったのでしょうか。

【保健体育課長】

1月の早目に新型インフルエンザの発生に伴う学級閉鎖等の基準が変わりましたので、事前に委員の皆様へ送付いたしました。また、年明けのインフルエンザによる出席停止状況一覧等の内容についても事前に送らせていただいたので、この会議の中では説明しませんでした。少し概要について説明させていただきます。

県の新型インフルエンザ発生に伴う閉鎖等の基準が変わりました。内容は、今までは2人出たら学級閉鎖という基準だったわけですが、今回は学級で20%、学年でも20%、学校閉鎖の場合は15%ということで、県の基準に則して船橋も基準を改定し、この基準に応じて各学校が対応しているところです。

年明けの状況につきましては、引き続き全体の把握は保健所と教育委員会で把握して

おります。今日現在の各学校の状況は、学級閉鎖は小学校の特別支援学級で1校です。1クラス7人中4人が感染したということで、19日から22日まで学級閉鎖との報告がありました。

また、全体の出席停止者数は、ピーク時よりかなり減っていますが、それでも90人前後を行き来している状況です。1校1人平均ですが、全体的には90人前後という決して終息した感じではないと思いますし、これから季節性のインフルエンザも流行ってくるので、学校には引き続き手洗い、うがい等を実施していただくよう対応を指示しています。簡単ですが、以上でございます。

【委員長】

新型インフルエンザが流行し始めて毒性がよくわからなかったときの「2・2・2」の基準を今回は緩めたわけで、実は季節性のインフルエンザのほうがずっと毒性が強いということもあり得るような気もいたしますが、いかがですか。

「2・2・2」の基準は、もともとの季節性のインフルエンザの基準だったのでしょうか、新型が流行ってから通達が来たものでしたか。

【教育長】

今回は季節性のインフルエンザに合わせたんでしょう。

【保健体育課長】

「20%・20%・15%」という基準は、季節性のインフルエンザに合わせたものです。

【委員長】

もともとの季節性のインフルエンザの基準になったということですね。わかりました。そのほか何かございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、本日本日予定いたしました議案の審議は終了いたしました。これで教育委員会会議1月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。